

# VMware vRealize Suite

## 概要

VMware vRealize® Suite は、プライベート、パブリック、ハイブリッドの各クラウドにわたり、IT サービスを提供、管理できる包括的なクラウド管理プラットフォームです。自動化と事前定義のポリシーにより、IT サービスを迅速に提供し、開発者やビジネス部門に優れた俊敏性と柔軟性を提供しながら、ガバナンスと管理性を維持します。また、従来型のアプリケーションとコンテナ ベースのアプリケーションが混在するアプリケーション環境における、サービス デリバリーとライフサイクル管理もサポートします。

## 主なメリット

- **俊敏性**：IT サービスの迅速な提供により、IT 部門はビジネス部門のニーズに完全に対応可能
- **効率性**：IT 部門の効率性と IT リソースの使用率を高め、設備投資コストと運用コストの両方を低減
- **最適化**：予測分析機能とスマート アラートにより、新たに発生する問題をプロアクティブに特定して解決し、最適なパフォーマンスと可用性を実現
- **管理性**：IT 部門のニーズに最適な管理性を提供し、俊敏性、リスク、コストなど、さまざまな目標にわたり最適なバランスを実現
- **ビジネスと IT の連携**：IT サービスの運用とコストの関連性を明確にし、IT とビジネスの連携を向上

## vRealize Suite に含まれるコンポーネント

VMware vRealize Suite は、優れた実績を持つエンタープライズ対応のハイブリッド クラウド管理プラットフォームを実現します。VMware vRealize Suite の主なコンポーネントは次のとおりです。

- **VMware vRealize Automation™**：パーソナライズされたインフラストラクチャ、アプリケーション、カスタム IT サービスの提供を自動化
- **VMware vRealize Operations™**：アプリケーションからインフラストラクチャにわたるインテリジェントな運用を実現し、SDDC の計画、管理、拡張を支援
- **VMware vRealize Log Insight™**：ログ管理とログ分析をリアルタイムで実行
- **VMware vRealize Business™ for Cloud**：仮想インフラストラクチャを対象としたコストの算出、使用量の測定、サービスの価格設定を自動化

## ハイブリッド クラウドの最適な管理

VMware Cloud Foundation™ と VMware vRealize Suite を活用することで、ソフトウェアベースのインフラストラクチャを包括的なクラウド管理プラットフォームにネイティブに統合できます。IT サービスをオンプレミス、パブリック クラウド、またはこの両方の組み合わせで運用する場合も、クラウド環境の一貫性は維持されます。

また、vRealize Suite の管理ドメイン間の連携により、包括的かつ統合的なアプローチでハイブリッド クラウド環境を管理することが可能です。たとえば、VMware vRealize Suite の運用機能では、ビジネス上の優先事項を反映したポリシーに基づき、サービスの運用に合わせてワークロードの配置が継続的に最適化されます。vRealize Suite の自動化機能では、同じポリシーを活用して、新たにリクエストされたサービスの配置先を決定します。さらに、新たに導入された vRealize Suite Lifecycle Manager により、初期設定、アップグレード、パッチ適用、健全性監視、構成管理の処理を行えるため、ライフサイクルを通じた vRealize 製品の導入と継続的な管理をよりシンプルかつ効率よく行うことが可能です。

SDDC インフラストラクチャへの既存投資は、vRealize 製品とその他の SDDC テクノロジーとの緊密な連携により、最大限に活用できます。たとえば、ネットワーク、ロード バランシング、セキュリティに関連する VMware NSX® の機能を、VMware のクラウド管理プラットフォームを使用して作成するブループリント（サービス テンプレート）にネイティブに組み込んで利用可能です。これにより、リソースのプロビジョニング時に、仮想ネットワーク、ロード バランサ、ファイアウォールを、オンデマンドでインスタンス化できます。

## 詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、製品 Web サイトをご覧ください。  
<http://www.vmware.com/jp/products>  
 製品の仕様およびシステム要件の詳細については、製品のオンライン ドキュメントを参照してください。

## サポート

VMware は、すべてのお客様に対し、サポートおよびサブスクリプション (SnS) サービスをグローバルに提供しています。さらにご希望のお客様には、導入を開始するうえでのベストプラクティスを提供する、コンサルティングサービスも用意しています。

<http://www.vmware.com/jp/services/>

## vRealize Suite のメリット

VMware vRealize Suite は、マルチベンダーハイブリッドクラウド環境の構築と管理のための、業界でもっとも包括的なソリューションです。vRealize Suite は、次のようなクラウド管理のユースケースに適しています。

- **インテリジェントな運用**：問題や異常をプロアクティブに検出して修正し、アプリケーションからインフラストラクチャスタック全体、そして複数のクラウド環境にわたり、パフォーマンスと可用性を維持します。また、運用とビジネスに関する情報を関連付けることで、クラウドのプランニングに関する迅速な意思決定、コストの管理、リソース使用率の最適化、予測精度の向上が可能です。
- **IT の自動化**：自動化とポリシーベースの管理により、複数のマルチクラウド環境にわたり、本番環境対応のインフラストラクチャリソースを自動で提供します。また、IT サービスのリクエストへの応答時間を短縮し、プロビジョニングしたリソースの継続的な管理を強化できます。
- **開発者向けクラウド**：開発者に生産性を最大限に高めるツールを自由に使用できる環境を提供することで、従来型のアプリケーション、コンテナ化されたアプリケーションを含め、アプリケーションの提供にかかる時間を短縮できます。また、アプリケーションを開発環境から本番環境にシームレスに移行できます。

これらのユースケースで vRealize Suite を利用することで、マルチクラウド環境全体でインフラストラクチャのコストや、エンドユーザーのリソース使用量も把握できるため、予算を最大限に活用できます。

## vRealize Suite のエディション

VMware vRealize Suite には、Standard、Advanced、Enterprise の 3 種類のエディションがあります。各エディションは、それぞれ異なるユースケースを想定しています。

- **Standard Edition**：アプリケーションのパフォーマンスと可用性の向上に向けた、予測分析機能とスマートアラートによるインテリジェントな運用管理機能を提供します。
- **Advanced Edition**：IT の自動化、IT インフラストラクチャサービスの迅速な提供が必要な企業に、インフラストラクチャとアプリケーションのリソースのプロビジョニングと継続的な管理の自動化機能を提供します。
- **Enterprise Edition**：開発者向けクラウドを構築し、開発者の生産性を最大限に高めることで、アプリケーションの迅速な提供を目指す企業に最適です。

## マルチベンダーハイブリッドクラウド向け Portable License

vRealize Suite 向けの Portable License Unit (PLU) では、vSphere のオンプレミス環境、サードパーティ製ハイパーバイザー、物理サーバー、サポート対象のパブリッククラウドなどの環境を問わずに、vRealize Suite を使用してワークロードを柔軟に管理できます。

ライセンスの切り替えや変換は必要なく、vRealize Suite のすべてのエディションでデフォルトの機能として提供されています。

VMware の Portable License については、vRealize Suite のライセンス (<https://www.vmware.com/jp/products/vrealize-suite>) を参照してください。

